

## 船舶事故調査報告書

平成21年9月10日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員長 後藤 昇 弘  
 委員 楠 木 行 雄  
 委員 横 山 鐵 男（部会長）  
 委員 山 本 哲 也  
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年1月3日 13時23分ごろ本船発見の通報があった。）
発生場所	不明（船長発見場所は、三重県鳥羽市安楽島町安楽島港東防波堤灯台から真方位097° 2,700m付近（概位 北緯34° 27.5′ 東経136° 54.0′）であった。）
事故調査の経過	平成21年1月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <sup>なかしま</sup> 第九中島丸、0.5トン ME3-61995（漁船登録番号）、個人所有 4.67m(Lr)×1.66m×0.65m、FRP ガソリン機関、漁船法馬力数30、平成9年1月7日
乗組員等に関する情報	船長 男性 71歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年5月16日 免許証交付日 平成20年7月7日 (平成26年5月27日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成21年1月3日09時00分ごろ、船長1人が乗り組み、わかめ漁の目的で、三重県鳥羽市浦村町今浦の係留地を出港し、同係留地北東方約2,300mの鳥羽市浦村町大村島南東岸付近のわかめ漁場に向かった。 同日13時23分ごろ、船長の親族から海上保安庁に、船長の帰宅が遅いため付近の浜を探しに行ったところ、大村島南東方の白浜海水浴場に転覆した状態で打ち上げられている本船を発見したので、捜索してほしいとの118番通報があった。 海上保安庁、消防署、地元漁船等で海上及び陸上から捜索を行った結果、翌日4日09時25分ごろ、海上保安庁の潜水士により、本船発見場所の北西方約1,000m、安楽島港東防波堤灯台から真方位097° 2,700m付近の海底で、裸足で上下雨合羽を着て救命胴衣を着用していない状態の船長が発見された。

	船長の死因は溺水で、死亡推定時刻は1月3日10時00分ごろと検案された。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 6、視界 良好 海象：潮汐 ほぼ高潮時、波高 約1m	
その他の事項	救命胴衣など本船に積載されていたものは、発見された本船付近に散乱していた。 強風、波浪注意報は、1月2日05時07分に出されたが、翌3日08時32分には解除されていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 死因は溺死であった。 本船に備え付けられていた救命胴衣は本船とともに発見され、船長は救命胴衣を着用していない状態で発見されたことから、船長は、救命胴衣を着用せず、落水したことにより、溺死に至った可能性があると考えられる。 船長が落水した状況については、明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が大村島南東岸付近において航行中、1人で乗り組んでいた船長が救命胴衣を着用せずに落水したため、発生した可能性があると考えられる。	